令和８年度 第６回 崇化館地域会議 会議録

■**日　時**　令和８年１０月２０日（火）　午後６時３０分～　７時４５分

■**場　所**　崇化館交流館　４階　第２会議室

■**出席者**　＜委　員＞　井上　眞一　　鈴木　雅之　　高橋　通郎
塚田　泰久　　柘植　伸夫　　都築　紀雄
西田　悠一郎　　西村　温　　藤井　康博
松山　純成　　三宅　良彦
＜交流館＞　森波 かおり（館長）
＜事務局＞　石原 雅之（挙母事務所長）　　加藤ひろみ（地域交流課担当長）
柴田健太郎（地域交流課主査）

■**欠席者**　井口　貴視　　玉谷　正美

■**次　第**　１　開会　豊田市民の誓いの唱和
２　会長あいさつ
３　協議事項
取組内容の整理・検討

■**議　事**（要約）

３　協議事項

取組内容を整理するために、それぞれの取組内容が①目指す姿「全ての年代の人達が会話のできる、明るく、安心・安全な地域」に対してどの程度効果があるか、②実現できるか、という観点で点数（０～３点）による評価を行った。委員個人による評価とし、結果は以下のとおり。

効果の評価が高かった上位６つ

取組案		効果	実現性
A	グリーンバード（誰でも気軽に参加できるごみ拾い）のような高頻度・低負担の社会貢献活動によって多様な世代の参加、交流につなげる。	２６	２０
B	自治区内の公園でＢＢＱやゲーム。準備からみんなで行い、多世代の交流を図る。	２３	２２
C	敬老会と子ども会がタイアップし、クリスマス会や３世代会を開催する。	２３	１８
D	豊田てらこやと連携した避難所、炊き出し体験（+餅つき）	２２	１８
E	避難所運営トレーニング、災害対策本部運営	２２	１８
F	環境美化活動に協力してくれた子どもに対して、「崇ちゃんありがとうチケット」を渡し、交流が生まれるようにする。	２２	２０

結果を踏まえ、グループワークにて優先順位を協議した。

＜グループ①＞

グリーンバードのような取組、公園での BBQ やゲーム、環境美化活動は３世代での交流が可能であると思ったが、それ以外は難しいと感じた。そのため、全ての年代の人とのつながりが持てるようにするには、これらは優先順位が高いと考えた。また、取組案を掛け合わせることも有効なのではないか。

＜グループ②＞

グリーンバードは世代を超えたつながりが期待でき、比較的容易にできると思う。また、高頻度で実施することも可能で、継続的なつながりも期待できる。

環境美化も、一定程度の頻度で実施することができ、交流が生まれることが期待できる。

敬老会と子ども会のタイアップ、ＢＢＱやゲームは、世代間の交流が生まれるように、間に入らないとできないため、継続性に懸念がある。

豊田てらこやとの連携は、小学生から大学生までの参加が見込めるが、イベント要素が強く、継続的なつながりにならない可能性がある。また、豊田てらこやは期間ごとにテーマや目標を決めて活動しているため、年間を通じたイベント自体がマッチしない。

避難所運営トレーニングは、防災に関心がある人は集まるが、偏りが生じてしまい、様々な住民との交流は生まれないのではないか。

優先順位	グループ①	グループ②
１位	Ａ・Ｂ・Ｆ	Ａ
２位	Ａ・Ｂ・Ｆ	Ｆ
３位	Ａ・Ｂ・Ｆ	Ｃ
４位	Ｃ・Ｄ・Ｅ	Ｂ
５位	Ｃ・Ｄ・Ｅ	Ｄ
６位	Ｃ・Ｄ・Ｅ	Ｅ

＜今後の進め方＞

取組を実施する上で、実施主体を地域、行政とした場合における実施案を提示しながら実施主体や実施内容（段階的な取組を含めて）、地域のかかわりを検討する。また、参考として、他地区においてそれぞれの取組を行っている実績（地域課題解決事業、わくわく事業等）があるかを事務局から提示する。

≪今後の予定≫

●令和８年度　第７回崇化館地域会議

日時：１１月１７日（火）１８：３０～

場所：崇化館交流館　４階　第２会議室